

Course number		U-LAS03 10002 SB48					
Course title (and course title in English)		外国文献研究（文・英）A-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)A-E1			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Letters Professor,YOKOCHI YUUKO
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Readings in Humanities and Social Sciences	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group C	Number of credits 2
Number of weekly time blocks		1	Class style Seminar (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・First semester
Days and periods		Tue.4		Target year		2nd year students or above	Eligible students For liberal arts students
[Overview and purpose of the course]							
<p>インドの伝統的な美学は、「味」を意味するラサという用語を使って形成されていく。これは、複数の「味」が混じって一つの料理の特別なおいしさが作られるように、複数の「味わい」すなわち情緒が混じって、芸術作品の特別な「味わい」すなわち美しさあるいは感動が作られるという考え方に基づいている。このラサ理論という美学は、演劇論に始まり、詩などの文学作品に適用され、さらに後には音楽や舞踊、絵画などすべての芸術形態に適用されるようになる。本授業では、インドの古代から近世までにかけてのラサ理論の形成と発展過程を原典の英訳を通して追っていくA Rasa Readerを教科書とし、その前半部（形成過程）を中心として講読する。この講読を通して、まず学術的な英語に親しむと同時に、英訳を通してではあるが、原典の扱い方を学ぶことを目的とする。さらに、履修者各自が専門とする（予定の）文化との比較を通して、美学・美的概念に関する比較文化的な考察を深めることができる。</p>							
[Course objectives]							
<p>学術的な英語表現に慣れるとともに、英訳を通して原典（一次文献資料）の研究方法を学ぶ。また内容要約の練習を通じて、要点を抑えた学術的英語の読み方を身につける。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>第1回 イン트로ダクション インドにおけるラサ理論（美学）の内容・歴史を概説するとともに、教科書とするテキストの内容を概観する。</p> <p>第2回～第14回 教科書とするA Rasa ReaderのIntroductionを講読したのち、教科書の前半部（第1～3章）から、いくつかの原典の訳と解説をとりあげ、講読する。1回5頁程度を約3人の担当者が分担して和訳する形式で進める予定である。また、できるだけ毎回、理解度を問うため、講読部分から段落の内容要約を課す。</p> <p>第15回 定期試験 第16回 フィードバック</p>							
[Course requirements]							
<p>自分が専門にしようとする学問領域について、ある程度具体的なイメージと意欲を持っていることが望まれるので、2回生以上を履修の条件とします。</p>							

Continue to 外国文献研究（文・英）A-E1(2)							

外国文献研究（文・英）A-E1(2)

[Evaluation methods and policy]

授業中に最低1回の和訳を担当することは必修。和訳担当(30%)、定期試験(30%)、授業への参加度・理解度（授業中に行う内容要約、授業内での発言等、40%）を総合して評価する。

[Textbooks]

Pollock, Sheldon (Tr. and Ed.) 『A Rasa Reader, Classical Indian Aesthetics』（Columbia University Press）
ISBN:9780231173902（授業中に講読する部分については、随時コピーを配布する。）

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

毎回の予習が必要です。和訳の担当者となった者は、特に時間をかけた準備が必要となりますが、担当ではない部分についても授業中に課される内容要約を行うためには十分に内容を把握している必要があります。

[Other information (office hours, etc.)]

履修定員を45名とし、履修人数制限を行うため、履修を希望する者は履修人数制限科目申込期間にKULASISから申し込むこと。

なお、以下の条件順で抽選を実施し、履修を許可する。

- 1．文学部の4回生（所属系は問わない。）
- 2．文学部東洋文化学系の2・3回生
- 3．上記系以外の文学部2・3回生
- 4．文学部以外の学生